

装和きもの学院講演

船場結納の歴史と水引体験

講演

体験

日時:2023年3月26日(日)14:00～

主催:装和きもの学院

場所:澁谷利兵衛商店

参加人数:11名

すぐれもん:澁谷善雄さん



大阪の結納について解説する澁谷さん



水引で飾られた結納品



店内に飾られている図より解説

船場結納の歴史と、箸袋とようじ入れ作りワークショップ
すぐれもん澁谷さんより水引を体験！

2023年3月26日(日)、装和きもの学院主催の「船場結納の歴史と水引体験」が開催され、中央区まちなすすぐれもん澁谷さんに講演いただきました。参加者は11名で、水引で豪華に飾られている結納品を前に、みなさんで楽しく実施しました。

澁谷さんは、江戸時代から続く船場の老舗店「澁谷利兵衛商店」の9代目当主です。澁谷利兵衛商店は、もとは鯉節屋として栄えており、結納が大衆に広まった明治以降に商売を拡充し、大阪の結納文化を牽引しました。そんな大阪結納発祥店として、結納にまつわる歴史について講演いただきました。



一般的なのし紙の一例

結納は新郎から新婦に送る、結婚の準備品と祝いの品です。今では金一封が多く見られますが、本来は現物品です。一般的には「のし」「末広(扇子)」「装飾品」「松魚」「清酒」の5品目。「のし」とは「うすく伸ばしたアワビの乾物」のことで、古くから縁起物でした。今では贈答品にかざる「のし紙」が一般的ですが、それは本来の「のし」が簡略化されたもの。そこに松竹梅、鶴亀といった縁起のよい水引細工をそえ、結納品を華やかに演出します。昔ながらの結納は減ってきたという澁谷さん。会場からは質問が次々と投げかけられ、結納文化を深く知る機会となりました。

また、実際に水引を使ったワークショップ

も開催しました。ワークショップでは色とりどりの水引から好きな色を3本選び、あわじ結びを体験。和紙から作った箸袋に一本一本結びながら完成させます。ワイワイとおしゃべりしながらつくる水引は、簡単のようでちょっと苦戦?!ようじ袋も含めて、オリジナルの箸袋も作りました。

水引体験ワークショップ

中央区
まちなす
すぐれもん

中央区まちなすすぐれもん

大阪市のHPでは、まちなすすぐれもんの利用ガイドや中央区まちなすすぐれもんの活動状況などを紹介しています。是非チェックしてみてくださいね！

<https://www.city.osaka.lg.jp/chuo/category/3133-3-0-0-0-0-0-0-0-0-0.html>

「まちなすすぐれもん」で検索してね！

まちなすすぐれもん

検索

